

令和4年度 評価委員会の指摘・提言を踏まえた対応方針

施設名：大阪府立水都国際中学校・高等学校

評価項目	評価基準	評価委員会の指摘・提言	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
1 人的管理	(2) 法令等に基づく教職員の要件を満たしているか(担当校種・教科ごとの有効な教員免許状の所持、必要な外国人教員の配置など、法令、協定書等の要件を満たしているか)	外国人教員の出身国で取得した免許の有効期間等も確認するよう取り組まれない。	教職員の採用は指定管理法人が行うべきものであるが、外国人教員をはじめ教職員の適正な採用活動に、引き続き取り組まれるよう要請する。	安定した学校運営を行うため、教職員の採用・登用・育成を計画的に実施していく。
	(3) 教職員の勤務労働条件は適切か(外国人教員への必要な優遇措置、労働基準法の遵守など、適切な勤務労働条件となっているか)	外国人教員への必要な優遇措置が図られていることは評価できる。	公設民営学校の安定的な学校運営のため、人材が定着する職場となるよう、労働条件の整備に、引き続き取り組まれるよう要請する。	安定した学校運営を行うため、教職員の採用・登用・育成を計画的に実施していく。
2 物的管理	(2) 防犯・防災計画等の危機管理、事故防止等の安全対策は適切に実施されているか	正門管理が徹底できていない時期があったことにより、評価が厳しいように見受けられるが、引き続き安全対策に取り組まれない。	事故防止等のための適切な安全対策を徹底して、引き続き取り組まれるよう要請する。	防災及び防犯計画に基づき、安全対策を徹底していく。
3 生徒管理	(1) 編成された教育課程に基づき、適切な学習指導が実施されているか(法令、協定書等に基づき、2教科以上の授業は英語を用いて実施、IBの手法を取り入れた授業の実施などは適切に行われているか)	IB教育が学校全体に広がるよう、引き続き取り組まれない。	IBコース以外でもIB授業を履修できる教育課程を引き続き編成し、学校全体でIB教育への取組を着実に推進していくよう要請する。	IB認定校として、IB教育が学校全体に広がるように取組を強化していく。
4 運営管理	(1) 民間企業の知見を活用した特色ある教育活動を実施しているか	今後は、民間企業の知見を活用した教育活動によって、S評価をめざす取組を期待する。	コロナ禍という外的な要因によって、特色ある教育活動が一部制限されたが、民間の知見を活用した特色ある教育活動を着実に推進していくよう要請する。	管理法人のネットワークを利用した教育活動を推進していく。